

細江カトリック教会だより

初冬号



〒750-0016 下関市細江町1-9-15

☎083-222-2294

☎083-222-0970

ホームページ <http://hosoechurch.sakura.ne.jp>

今を生きる

「時間が経つのは早い、本当に早いものだ。」
あつという間に11月という死者の月が終わり、もうすぐ12月になります。11月では私たちが復活の希望という信仰をもって亡くなったすべての人のために祈っています。そして、12月と言いますと、直ぐにクリスマスのことを考えるのではないのでしょうか。確かに、この月において、クリスマスを迎えることになっております。ですが、その前に心の準備としての待降節があります。この季節は、私たちに救い主を待ち望む心と呼び覚ます期間として、イエス・キリストを日々の生活の内に迎えるようにと教会は呼びかけています。御子であるイエスを地上にお迎えしたことを感謝しつつ、世の終わりにさえも復活の希望を持つことができる私たちには何と嬉しいことでしょうか。

実は私たちは平安な生活、いつも心穏やかに過ごすこと、すなわち問題のない生活を求めているのでしょうか。国と国との間に、争いがなく、また人と人との間に問題が起こらないことを願っています。問題がなければ心は穏やかで、平安を感じるはずなのに、時には問題がなくても、心が落ち着かないままで、不安を感じながら日々生活を過ごすこともあったのではないのでしょうか。そして、こうした不安を解消するために、犬を散歩したり、居酒屋に行つてぐんぐん飲んでたくさん食べてすべてを忘れようとしたりするという人もいます。あるいは音楽が



好きな人ならばカラオケに行つて思い切つて歌う人がいるかもしれません。一時的に不安を解消することができるかもしれませんが、しかし、また別の問題が起こってきます。つまり、生活の中で私たちがそれぞれの違う問題を抱えながら生きていると思います。それにもかかわらず、心に慰めや励ましや平和があるのを感じ、神を信じ生きるならば、これこそがイエス・キリストに結ばれているのではないか。教皇ベネディクト16世は『希望による救い』の回勅の中で、「私たちに希望、すなわち信頼することのできる希望が与えられているということです。この希望の力によって、私たちは現在に立ち向かうことができます。現在がたとえどれほど困難であっても、私たちはそれを生き、受け入れることができます。そのためには、現在が目標へと導いてくれるものでなければなりません」(SS, 1)と語られています。ですから、問題から問題へ抱えながら生きている私たちに必要なのは心配することではなく、イエス・キリストに

信頼することです。断言すれば、イエス・キリストによって示された希望に照らされた「今を大事に生きる」ことです。それによって、私たちは互いに争い、妬み、不信と恐れの中で生きるのではなく、互いを受け入れあうこと、神に信頼することへと変えられます(ローマ13・11-14参照)。

ベトナム人の枢機卿、フランソワ・サビエール・グエン・ヴァン・トゥアン枢機卿により書かれた祈りをもって、この記事を終わりにしたいと思います。

「主よ、わたしは待ちません。
今というこの瞬間を生きる決心をしています。
それを愛で満たします。
なぜなら点と点をつなぎ何千万もの点をつなぐと長い線になります。
瞬間と瞬間がつながり何億もの瞬間が人生を織り成します。
正しくつなぐと人生は美しいものになります。
それぞれの瞬間を善く生きると聖なる生涯になります。
希望の道は一つひとつの希望の点から成り立っています。
希望の人生は一つひとつの希望の瞬間から成り立っています。
全生涯御父の御心のままに生きた主イエスのように、それぞれの瞬間を私は主と結び直したい、「新しい契約を」、「永遠の契約を」。
今を生きること、そして、その今を愛で満たすことに生き抜いたら、どんな状況、どんな状態にあっても、私たちは、神の愛、神の命、永遠の命、天国を見出すことができると信じています」。 Amen。

グエン・ヴァン・トアン 神父

+



社会教説 10月2日(日)

『兄弟の皆さん』の呼びかけにどのように応えるのか

「兄弟の皆さん」は外国人労働者や難民など外国から来た人たちをも指し、教皇フランシスコの「夢を描いて実現しよう」の言葉に沿って、閉じられた世界を見渡し、わたしたちは、開かれた世界を描き、生み出そう。『福音の喜び』の“出向いていきましょう”は自分の心の扉を内側から叩いて外へ出ていこうとしてい

ることで、と中井淳神父は笑顔で聴いているみんなに話し始められた。

中井神父は子ども食堂とキッチンカーの体験を通して地元にも根付くことができたことから、ローカルとグローバルの二つの視点を併せ持って、ローカルを大切にしながらグローバルであろう、チャレンジしよう、広がっていかう、と呼びかけられた。

400人以上が収容されている大村の入国管理センターを一年前から毎月訪問して収容されている人たちと面接し、心が痛くなる多くのケースと向き合った体験から、日本社会において「善きサマリア人」「良き隣人になる」ことの難しさを語られた。

イエズス会総長であったニコラ神父の言われた「神さまに与えられためぐみを神さまにお返しするとき。めぐみの呼びかけがある。神さまは共にいるしるしを必ず与えてくださる」ことによってその難しさを超えよう、人と人がつながっていくことで救える命がある、そのネットワークを作っていこう、失敗してもいい失敗したら救うネットワークを築いていこうと呼びかけられた。

そして、3~4人ずつに分かれ、笑い声も起こる楽しい分かち合いをして、「知らず知らずに感謝をして、知らず知らずに共に歩き、できることをする」との気持ちをみんなで行うことができました。

M・M



教会建替えの報告 11/25

信徒の教会づくりとして、信徒の力による建築を目指していきます。

建て替えは、来年8月着工予定となっております。

先日の宣教司牧協議会で教会の向きについて地区の皆さまへ提案しましたが、祭壇が西側の案が意見多数で決定いたしました。

工事中は既存のカトリックセンターを改装使用し、1Fを聖堂(後にホール)、1F奥部屋を台所、2F和室を小聖堂の予定です。

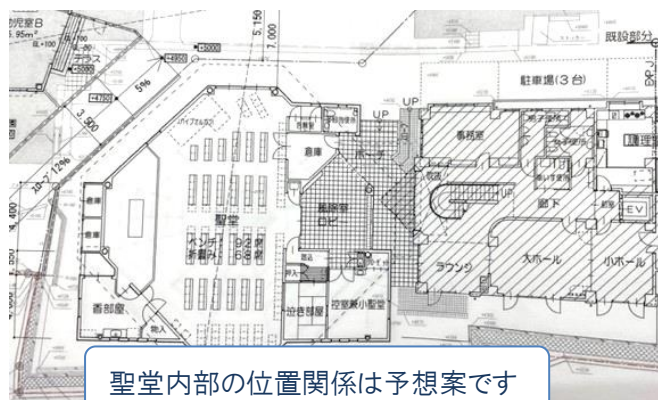
教会イメージや内装については、皆さまの意見を集約しながら、設計業者と細かく検討を重ねてまいります。

現状では、中里オルガンさんにオルガンの位置関係や現在の聖堂の長椅子を加工して再利用すること等々の相談をしています。

何かお気づきの点がございましたら建替え委員、地区長へお知らせください。

建築費用については、概算額は2億円超が必要とされています。今までの建替え積立金では不足しております。したがって、信徒の皆さま一人ひとりの献金を何卒よろしくご協力をお願いいたします。

進捗状況は随時 聖堂入口に掲示しますので、閲覧してください。



聖堂内部の位置関係は予想案です



建替え委員長 近藤

地区だより I 細江地区



コスモスの花が種になり、黄色の石蓆に景色も変わり、季節が秋から冬へ移り変わり、園では、♪おめでとう、マリアさま、しあわせなかた〜♪ それぞれのクラスからもジャングルジムのてっぺんからも歌声が聞こえてきます。

最初は「クリスマスって?」と聞くと、「プレゼントをもらう日!」「サンタさんが来る日!」と、言っていた子ども達。「あっ!イエスさまの誕生日!」と気づくと、「その嬉しい日をお祝いするんだ!」と喜びいっぱい伝わってきます。

聖劇の役を決めるのは、自分達の選びで決めていきます。役が重なった時は「自分達でどうやって決める?」「歌ってみようか?」とことん話し合い?意志を貫く子、「私違う役でいいよ!」と。

子ども達の世界には、すでに“イエスさま”がいらっしゃると感じる場面が、たくさん見えます。男の子も大天使や天使を希望する子もいます。「それはいいね!」と。

最近男の子がマリア様・女の子がヨゼフ様と・・・やはり、そこはイエスさまのお父様、お母様という事で・・・。

この子ども達のように私たち一人ひとりの心の中にイエス様が生まれて来てくださいます。それを感じる事が出来たらみんなが平和な気持ちになりますね。

三上 しのぶ

お知らせ

待降節黙想会

12月11日(日)9:00

講師:林 尚志 神父様

主の降誕

12月24日(土)夜半19:00

12月25日(日)日中11:00

〃 ベトナム語 午後〜

ベトナム青年 自己紹介

いつもお世話になります。
ファン ダック コイ
と申します。
ベトナム出身です。
6か月前に日本に
来ました。
留学生として日本に
住んでいます。日本
のレストランでバイ
トしながら日本語学
校に通っています。



私は料理が大好きです。そして水泳もでき
ます。(100メートルぐらい泳げます)
日本の文化に興味があるため、日本で勉強
する事を決めました。日本語学校を卒業後、大
学に進学する予定です。
教会の皆さん、どうぞよろしくお願いいた
します。



* はじめまして! 私はチンと申します。
今年22歳
で、独身です。
私はベトナム
から来ました。
今は下関に住
んでいます。
私の家族は9
人います。私の
趣味は映画を
見ることです。
日本人の働き
方と日本の文化を学んで、自分の経験を高め
たいと思ったため、日本に行くことを決めま
した。
どうぞ宜しくお願いします



* 皆さんこんにちは♪
はじめまして私の名前はTHU(トゥ)です。
今年20歳です。ベトナムのフンエンから来
ました。実習生として日本で働いています。今
山口県下関市に住んでいます。私の趣味は旅
行です。どうぞよろしくお願ひします。



:編集後記:
* 今もなお続いているウクライナで起きた戦
争...12月になって極寒の中、子どもたち
は?年老いた人たちは?...どうしているの
だろうか?と、いつも悲しい思いを持ち続け
ている。この戦争も情報が少なく、人々の関
心度が薄くなって真実が見えづらくなっ
ている。
神さま、どうか弱い、何の罪のない大切
な子どもたちと人々を助けてください。一
日も早く戦争が終結し、平和が実現しま
すように。寒い冬が終わり、暖かい春が訪
れ、実り豊かな大地と共に人々が安心し
て生活できますように...。切に切に願
います。

* もうすぐクリスマスです。コロナ禍で
教会に来られない方々へ♡パワーを送
りたいと思います。光熱費高騰で冬の寒
さが身に沁みます。
皆さま、どうぞお大事に! (こ)

† 帰天 (9月~11月)
・ 9/28 マリア 有光 昭子さん 87歳
・ 11/ 2 パウロ 上原 和雄さん 71歳
・ 11/18 ジェンマ 藤本 悦子さん 89歳
新しい出発をお祈りしましょう。